

環境産業委員会会議録

- 1 期 日 平成30年6月27日（水）
- 2 会 場 第1委員会室
- 3 開会時刻 午後0時57分
- 4 閉会時刻 午後2時1分
- 5 出席者 委員長 小沼 秀朗 副委員長 藤原 正光
委員 鷺山 喜久 委員 大石 勇
委員 窪野 愛子 委員 山本 裕三
委員 松浦 昌巳
- (当局側出席者) 副市長、都市建設部長、環境経済部長、
上下水道部長、所管課長
- (事務局出席者) 議事調査係 佐野勇人
- 6 審査事項
- ・陳情第1号 「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の陳情書
 - ・議案第58号 掛川市特別会計条例の一部改正について
 - ・議案第56号 平成30年度大坂・土方工業用地整備事業特別会計予算について
 - ・議案第57号 平成30年度掛川市一般会計補正予算（第1号）について
- 7 会議の概要 別紙資料のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成30年6月27日

市議会議長 鈴木正治様

環境産業委員長 小沼秀朗

7 会議の概要

平成30年6月27日（水）午後0時57分から、第1委員会室において全委員出席のもと開催。

1) 委員長あいさつ

2) 当局（伊村副市長）あいさつ

3) 付託案件審査

- ・ 陳情第1号 「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の陳情書

[陳述 13:09～13:14]

[質疑 なし]

○小沼秀朗委員長

陳述者に対する質疑はあるか。

○小沼秀朗委員長

無いようなので、質疑を終了する。

次に、委員の意見をお願いします。

○山本裕三委員

賃金は大切なことであるということは、今の説明でよくわかる。当市は中小企業振興基本条例を制定した。これから、地域の中小企業を踏まえた中で、じっくりと話し合って結論を出していくべきと考える。地域の人達の話聞かずに、また、色々な調査をせずに、議会として採択することは、少し厳しいと考える。

○藤原正光副委員長

安倍内閣の重要施策の一つに、最低賃金の引き上げが盛り込まれている。年率3%上げている。これまでも加重平均13%上がってきているので、非常に大事なことだと感じる。

説明では、全国一律とのことだが、一律にしている理由としては、失業者数、倒産企業数、求職数等、それぞれ地域の理由があって、各県で差がついていると思っている。そのため、高い方に合わせると、例えば、スーパーが無い所が経営ができなくなり、そのまちにスーパーがなくなり、逆にその地域の問題になってしまう。低い方に合わせると、都会では暮らしていけないということになってしまう。そのため、議論が必要と考える。中小企業振興基本条例を制定されたということで、国では、単価の適正価格のガイドラインを作成中で、買ったときにならないようなすすめをしているが、なかなかこれも進んでいかない状況の中で、賃金だけ上がっていくとなると、中小企業にかなり負担になるので、検討が必要ではないかと考える。

○鷲山喜久委員

県の労働組合評議会の各組織が掛川にもあると思うが、そこの考えがはっきりわからない。それと、給料が低いので高い方に人が動く。そういうことになるので、人としてそれでいいのかということを見ると、同意が得られないのではと思う。

○松浦昌巳委員

掛川市は、中小企業振興基本条例を制定したばかり。これから、中小企業の方々とお話を聞き、細かく咀嚼しながら、掛川市の中小企業が安定していくと思っている。まだ今の段階では、最低賃金に触れるのは時期尚早。もう少し時間を掛けていくべき。

○大石勇委員

中小企業にとっての支援策を先行して考え、どちらかというと非正規より正規社員を増やす方向で支援をできるか。こういうことを優先した方がいいのではないかと考える。

○窪野愛子委員

皆と同じ意見。双方の声をきちんと聞く。事業者側の思いも受け止めなければいけないと思うし、非正規の人達は、本当にそれを自ら選択して非正規になっている人もいる。もう少し議論を深めて、前に進めていくべき。

○小沼秀朗委員長

採決に入る。

[採 決]

陳情第 1号「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」

採択の陳情書は

全会一致にて原案とおり不採択

・議案第58号 掛川市特別会計条例の一部改正について

[産業労働政策課説明 13:23~13:25]

[質 疑 13:25~13:26]

○小沼秀朗委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○鷲山喜久委員

5~6年後に進出企業に譲渡することになると思うが、その後、特別会計は廃止の処理となるのか。

○戸塚産業労働政策課長

名称が、大坂・土方工業用地整備事業特別会計と限定しているので、用地売却が終了すれば、特別会計はなくなる。

○小沼秀朗委員長

以上で質疑を終了する。

[討 論]

なし (なしの声あり)

[採 決]

議案第58号掛川市特別会計条例の一部改正については

全会一致にて原案とおり可決

・議案第56号 平成30年度大坂・土方工業用地整備事業特別会計予算について

[産業労働政策課説明 13:28~13:32]

[質 疑 13:32~13:35]

○小沼秀朗委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○山本裕三委員

職員給与について、市の職員か。それとも外部の方か。

○戸塚産業労働政策課長

現工業用地整備係職員の人件費である。

○藤原正光副委員長

4 ページ債務負担行為の環境影響調査業務委託と発掘調査業務委託の1,000万円は、西工区に限ってのものか。

○戸塚産業労働政策課長
基本的には、発掘調査業務委託と環境影響調査業務は、東工区と南工区を含めた全体を見込んでいます。

○窪野愛子委員
関連で、造成工事の時は、発掘調査は付きものなのか。

○戸塚産業労働政策課長
必ずではない。教育委員会に確認し、古墳や戦国時代の砦跡等が滞在している可能性が高いとのことなので、発掘調査業務委託について予算計上した。

○小沼秀朗委員長
以上で質疑を終了する。

○小沼秀朗委員長
委員間討議をお願いします。

[討 議]
なし

[討 論]
なし (なしの声あり)

[採 決]
議案第56号平成30年度大坂・土方工業用地整備事業特別会計予算については
全会一致にて原案とおり可決

・議案第57号 平成30年度掛川市一般会計補正予算（第1号）について
[産業労働政策課説明 13:37～13:39]
[質 疑 13:39～13:50]

○小沼秀朗委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○山本裕三委員
勤労者福祉会館について、貸し出す上で課題等あるか。

○戸塚産業労働政策課長
今年度、2つの事業者が見に来たが、結果は、2社とも入りたいという返事はいただけなかった。1つは、駐車場問題である。敷地全体で4、5台しか停められない。もう1つは、駅が離れている等、交通の利便性が良くない。こういった理由がマイナスに働いていると考える。

○鷺山喜久委員
旧勤労者福祉会館管理費のエアコン修理費508,000円や産業交流プラザのエアコン修理費490,000円について、家庭では考えられない金額であるが、何か特殊な理由があるのか。

○戸塚産業労働政策課長
天井の埋め込み式のエアコン設置のためである。それぞれ、別の業者から見積もりをとっている。

○大石勇委員
部屋の広さは。

○戸塚産業労働政策課長
会議室の広さになるが、勤労者福祉会館は28.12㎡。南商工会は、31.60㎡である。
修理と言ったが、新品へ取り替える。

○大石勇委員
説明資料のカッコ書きの意味は。例えば、勤労者福祉会館の修理費470,000円が978,000円となっているが。

○戸塚産業労働政策課長
カッコの左側は当初予算額。右側が、増額をした場合の金額である。

○大石勇委員
エアコンを変えたりするたびに、16坪の天井埋め込みエアコンが978,000円かかるということか。

○戸塚産業労働政策課長
あくまでも、修理費の増の580,000円が、エアコンの新設に係る部分である。その差額については、今年度予定している別の修理費に使うことになる。

○窪野愛子委員
2社見学がありダメだったという理由が駐車場問題と交通の利便性とのこと。どういう所だったら借りていただけるのか。しっかりと明示していかないと、とてもいい施設なのに、借り手がいないのではないか。このことにもっと踏み込んでいかないと修理費も掛かってくる。公共施設マネジメントの対象として動いていかないといけないのではないかと、先ほどの答弁を伺って感じた。

○戸塚産業労働政策課長
市としても、どうすれば借りていただけるかは当然考えなければいけない。交通の利便性が悪くても、郊外でも借りていただける業種はあると思うので、そういう所に入ってもらような考え方を、市としてはやっていくべきと考える。

○鷺山喜久委員
説明資料1、故障したということがわかったので当初予算で47万円を計上。ところが、色々ダメになり新しいエアコンを付け、工事等含めて978,000円になるのか、あるいは、色々修理するので、その修理代等で508,000円になるのか。わかりやすく説明して欲しい。

○戸塚産業労働政策課長
470,000円は、今年度の修理を見込んで計上しているもの。調整池の修繕費として約14万円。会館の障がい者用のトイレの扉をアコーディオン式から通常のものにし、洋式トイレとして活用するための扉交換工事費として約33万円ほどを見込んでいる。それらを合わせた47万円を当初予算として計上した。今回のエアコンについては、3月末頃に故障した。夏に向かってエアコンがないのも困るため、それに対応するため、エアコンの修理費として508,000円を補正計上した。

○鷺山喜久委員
理解した。

○大石勇委員
資料5も同じか。

○戸塚産業労働政策課長
15万円は、毎年確保している額である。修理が発生すれば、ここで対応する。同じように4月頃、エアコンが故障したということがあるため、急遽対応するために、エアコンの費用として49万円を補正計上した。

○小沼秀朗委員長
以上で質疑を終了する。

[都市政策課説明 13:52～13:54]
[質 疑13:54～13:57]

○小沼秀朗委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○大石勇委員
耐震の調査をまずやる。調査をした後に補強ということで、補強はお金がかかるので、そこからなかなか進まないといことが今まであった。このような制度へ変えると、件数は増えるのか。

○林和範都市政策課長
耐震診断はお金がかからないので受けるが、そこから補強計画・補強工事が増えるかどうかというのは難しい。今まで補強計画で止まってしまった部分については、この新制度を導入することによって確実に補助工事につなげられるので工事は増えると思う。

○大石勇委員
大阪府でも大きな地震があつて倒壊の被害が出た。診断だけ受けて、お金がかかるので辞める人もいると思うが、こういったことによって進んでいかないと掛川市は地震によって倒壊したり死者をゼロにするというようなことにつなげていかないといけないと思うので、耐震診断とともに進めてもらいたい。

○林和範都市政策課長
耐震診断というのは地震が起こると増える。平成28年は平成27年に対して、110件が167件と増えた。しかし、平成29年は87件まで落ちてしまった。耐震診断自体は増減があるが、最終的に工事へ持って行くのが大事。これが上手くいけば、さらに積極的に導入していきたいと考える。

○窪野愛子委員
とても良い事業費だと思う。これを市民の方々へ周知してもらうためにどのように広報していくか。

○林和範都市政策課長
広報掛川8月に空き家の特集があるので、その中で併せて掲載していく。

○小沼秀朗委員長
以上で質疑を終了する。

○小沼秀朗委員長
委員間討議をお願いする。

[討 論]
なし (なしの声あり)

[討 論]
なし (なしの声あり)

[採 決]
議案第57号平成30年度掛川市一般会計補正予算(第1号)については
全会一致にて原案とおり可決

- 4) 協議事項
閉会中継続調査申し出事項について

別紙のとおり 1 2 項目で了承

- 5) その他

- 6) 閉会 14 : 01